

佐渡市市民環境大学は、身近なテーマを専門的に学び幅広く交流しながら、環境について理解を深め、佐渡の環境課題について学んでいます。

今回は「生活の知恵を活かして、エコのある暮らし」をテーマに、不法投棄の防止や自然環境の保護について話し合った概要についてご紹介します。

「生活の知恵を活かして、エコのある暮らしを」



ごみの不法投棄や道路へのポイ捨てをなくすためには

①こどもの頃から地域や学校で環境教育を徹底することや、市報等を活用した呼びかけを継続することが大切。

②ごみの中には資源となる空き缶や空ビンがあり、これらのリサイクルを推進すること。リサイクルを推進するには、分別の項目を多くして、分別の方法をわかりやすく市民に周知することが大切。

里山作り・自然環境の保護について考える

①森林が荒れている。ナラ枯れを何とか防ぎたい。山へ人が入らなくなり荒れているので、行政や市民ボランティアによる森林の手入れが必要。

②森と河川とのつながりが弱く、水不足が心配される。山の手入れや植林をすることで、山、川、水辺がつながり、里山が再生される。

エコツアー・環境教育を考える

①新潟大学の演習林は写真展で広く知られ、入山者が多くなることで、周辺の貴重な植物の踏みつけなどのマイナス面があるので、入山者の制限をすることは仕方がない。

②エコツアーガイドの能力向上を図ることや、入山のためのルールやマナー

の周知が必要。

自然エネルギーを考える

①自然エネルギーの活用には、各家庭に太陽光パネルを普及し、太陽光から発生する電気エネルギーを活用することで、石油等の化石燃料に頼らない佐渡の実現が図られる。

②海に囲まれていることから波力発電、ダムの放流を利用する水力発電、温泉を利用する地熱発電などの開発を検討すべき。



市民環境大学(平成20年11月14日 第8回基礎講座)より
講師:佐藤康行さん(新潟大学人文学部教授)

◆市役所 トキ共生・環境課
☎6331113

雪割草をみんなで守りましょう

『新潟県の草花』に指定された雪割草。里山、自然のシンボルとしての雪割草。この貴重な植物を大切に守り、美しい佐渡の自然をいつまでも残しましょう。

新潟県雪割草保護連絡協議会

新潟県では、雪割草の保護活動を推進することを目的に、雪割草関係団体、学識経験者、行政等の17団体からなる協議会を設立して、保護活動を行っています。



市役所 トキ共生・環境課(環境企画係) ☎63-3113